

## 会 議 録

### 1 会議名

令和2年度 第6回津有区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

#### (1) 協議事項（一部非公開）

- ・自主的審議について

### 3 開催日時

令和2年10月26日（月）午後6時30分から午後8時5分まで

### 4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

### 5 傍聴人の数

3人

### 6 非公開の理由

意思形成過程の内容が含まれるため。

### 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：猪俣敦子、大滝英夫、田中博三（副会長）、中島 功、藤本孝昭（会長）  
古川勝夫、古川 仁（欠席5名）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、山崎主事

### 8 発言の内容（要旨）

#### 【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【藤本会長】

- ・会議録の確認者：田中副会長

次第2 議題「(1) 協議事項」の「自主的審議について」に入る。前回の協議会の発表内容や本日の進め方について、事務局に説明を求める。

**【山崎主事】**

- ・資料1に基づき説明

**【藤本会長】**

資料1は前回の発表を基に、事務局がまとめたものである。各自確認し、記載以外に出た意見等あれば、発表願う。

北部は企業についての意見の記載がないが、意見はあったか。

**【田中副会長】**

意見は出た。北部の企業については、「多い」である。

**【藤本会長】**

他に何かあるか。

古川 勝夫委員、南部では何かあるか。

**【古川 勝夫委員】**

特にない。

**【藤本会長】**

南・北で委員数に差があるのだが、本日は前回に引き続き、南部（上雲寺小学校区）と北部（戸野目小学校区）に分かれて「宿題2」を基にグループで意見交換を行う。グループでの意見交換終了後、全体会にて各グループで出た意見の発表を行いたいと思うが、このような進め方でよいか。

（よしの声）

では、南部と北部に分かれ、グループワークを始めてほしい。

— グループワーク（50分） —

（※以下、グループワークの発表について、特定の団体の意思形成過程の情報が含まれる部分を一部非公開）

**【藤本会長】**

全体での会議を再開する。

前回に引き続き、意見交換が盛り上がり、話が収束しないままに時間となってしまったように思う。それぞれのグループで出た意見について、発表願う。

最初に南部のグループより発表願う。

**【猪俣委員】**

南部の発表を行う。

「今、困っていること」と「今後、心配していること」が、似た内容であったため、項目を分けずに発表する。

地震・水害等の災害が起きた場合、新型コロナウイルスの影響がある中で大丈夫なのかということ。また、各小学校や神社等に防犯カメラが必要なのではないかとの意見も出た。

次に「今後、心配していること」に入ると思うのだが、少子高齢化のため高齢者の人数が増え、後継ぎのいない家が増えている。これは、空き家が増えることに繋がっている。また未婚の若者も多い。若者が地元に残らないことに対しては、魅力的な仕事がないことが原因ではないかとの意見が出た。

次に「好きなところ」は、今のところ災害が少ないということである。

「自慢したいところ」は、自然豊かなところや、実は歴史的な偉人がたくさんいるところである。

少し話は逸れるのだが、前期の地域協議会の資料を見たところ、課題がいつも繰り返されているような気がするとの話があった。いつも同じような問題点が出ており、このままでよいのかとの話があった。自分たちが解決することはできないと思うのだが、問題点について、声を上げていくことが大事だとの話も出た。

#### 【藤本会長】

次に北部のグループより発表願う。

#### 【中島委員】

北部の発表を行う。人数が少なかったのだが、いろいろな話をした。

「今後、心配していること」として、65歳にならないと年金が出ないため、どうしても65歳まで働かなければならず、町内会の役員や行事に、なかなか積極的に参加していただけないという問題がある。しかし、やる人は一生懸命にやっているため、町内会としての活動はきちんとできている。

次に保育園バスの関係である。地域協議会の場ではそぐわない話かもしれないのだが、毎年利用が少なくなっている。共働き夫婦が増えており、母親が早くに出勤し遅くに帰宅するため、定時出発・定時帰りの園バスに乗る子どもが少なくなっていることを心配している。これは戸野目保育園だけではなく、上雲寺保育園でも同じ問題があると聞いている。保育園バスは地域の運行協議会が運営しているため、大変心配している。

自分からは以上である。次に田中副会長より発表を行う。

#### 【田中副会長】

地域により状況が変わるため、自分は戸野目・四ヶ所・平成町について発表する。

よい点は、しっかりとした協力団体があり、特に環境面ではよく整理されているように思う。例えば、花壇が整備されている。また、区画がしっかりと整備されているため、町並みがよい・景観がよいとのプラス面がある。

課題というか、困っているような点として、地域によって違うのだが、四ヶ所では住宅が密集しているため、今後、空き家が増えた際、除雪や管理の問題が出てくる。また田んぼの管理についても、高齢化により維持管理が難しくなるため、今後田んぼがどのように変わるのか、どこに委託されるのかとの問題が出てくる。もう1つ、これは平成町の問題であるが、住民同士の意識が希薄だということである。原因の1つとして考えられることは、イベントが少なく交流する機会が少ないこと。それと、工場が半分、一般住宅が半分という感じであり、人口が多い割には交流する場が少なく町内会長が困っている。アパートの住人は、ただ町内会費を払っているだけであり、ほとんど町内活動には関与していない状況である。これは町内の中でできることであるため、今後の平成町の問題だと思っている。地域として差し迫った課題は今のところない。ただ、これから少しずつ顕著化されるような感じがしている。

#### 【藤本会長】

今ほど、2つのグループより発表がされた。

南部からは、割と焦点化したかたちで発表があり、どこの町内という話は出てこなかったが、いくつかの話題があった。また北部については、本日は2人ということで、それぞれの住んでいる町内や近辺の課題について話があった。

なかなか焦点化しづらいのではないかと思うのだが、かなり前回と今回のグループワークにより絞れてきたように思う。まだ具体的にまでは達してはいないのだが、本日は終了としてよいか。

(よしの声)

今後の進め方等について事務局より説明を求める。

#### 【山崎主事】

今回のグループワークは、自主的審議のテーマを決めることや絞ることが目的ではなく、今後、地域との意見交換を行い、地域の人たちが考える課題や特長と整合を取

りながら自主的審議のテーマを決めるベースとするために行ったものである。そのため、次のステップとしては、本日出た意見等をベースとして、地域との意見交換の開催に向けて調整していきたいと思っている。今後の進め方として、町内会長を含め、どのような団体と意見交換をしたいのか、市の担当課より説明を受けたいものがあるか、現場を見に行きたいものがあるか等、今後の進め方について意見を聞きたいと思う。

またその前に、正副会長との事前協議の中で、2回に分けて行ったグループワークの中で地域の課題等に対して、どのように受け止めたのかを確認したいとの話が出た。そのため、委員各自の感想として聞きたいと考えている。

#### 【藤本会長】

2回のグループワークの意図するものについては、今ほどの説明で分かったと思う。

繰り返しになるが、ここで何か1つに絞るということではなく、何が課題なのかをグループワークをする中で意識を持ち、次のステップに進むための動機付けというか、自分たちのモチベーションを上げるとの意味合いもある。

せっかく2回に渡ってグループワークを行ったため、率直な感想を1言ずつ発言願う。では、猪俣委員より順に願う。

#### 【猪俣委員】

先ほどの話の中で「課題・問題点がいつも繰り返されているのではないか」ということに、自分も同感であった。自分と同じように感じている人が、やはりいるのだと思い少し嬉しかった。やはり藤本会長が言うように、問題点を自分たちが解決することは、きっとできないと思う。だが2回に渡って、問題点や好きなところ・自慢したところ等を意見交換したおかげで、自分はもともと、よそから嫁いできた身であり知らないことが多かったため、とても勉強になり、参加してよかったと思った。

#### 【大滝委員】

話を聞いて自分なりに考えてみた。

やはり地域の課題としては、今出た問題ばかりではなく、以前からの問題もかなりのウエイトを占めていることをつくづく感じた。その中でも特に、「少子高齢化」「後継者問題」「空き家問題」がみなこの辺に絡んで来ているということ、グループワークをした中でつくづく感じている。今後の話の中でこういった課題を少しでもよくする方法というか、何か1つでも糸口が見つかればとの期待をしながら、考えていき

いと思う。

**【中島委員】**

今回、自分が発表した北部地区の問題点については、地域協議会の議論に馴染むとは思っていないものもある。言ったからといって何を解決するというものもないのだが、今後どんどん顕在化していく問題であると思っている。その中で、自分は町内の中での仲間づくりはきちんと行っていきたく思っているため、お互いに町内外の仲間づくりをしていくことが、これからの地域発展のためにはよいと考えている。具体的な解決方法は、非常に難しいと思っている。

**【田中副会長】**

いろいろな課題とまでいかないと思うのだが、困りごと等、地域のことで、地域でできることは地域で解決していく。市で解決できることは市に任せる。またその双方で協力して行うことで、個々の問題の解決に対して、どのように向き合えばよいのかを見つめてきた。意外と地域でできることはあるということが多く見えた。また市の主要事業プロジェクトを見ると、いろいろな問題解決の方針は出ているため、これからよくなると思っている。任期 4 年間の中で、どのように進展するのかを楽しみにしていきたいと思っている。

**【古川 勝夫委員】**

いろいろと皆さんと話をし、本当にこれからは、少子高齢化により高齢者が 1 番多くなってくるのではないかとと思っている。それに伴い、いろいろな問題点が今後多くなってくると思う。その問題点を、いかに改善するのかという意見を行政等に少しでも届けることができれば、地域全体がよくなるのではないと思う。また、子どもたちにもよい状態で過ごしてもらいたいと思っている。任期の 4 年間で、少しでもこの地域がよくなるよう、頑張っていきたいと思う。

**【古川 仁委員】**

今回の 2 回のグループワークを通じて、実際に個々の町内で悩んでいることや困っていることは、やはりいろいろと違うと思った。また今、自分が地域協議会委員を務めているが、多分、地区の町内会で協議会委員を知っている人は何人もいないと思う。市の広報等で見た人はいると思うのだが、直接、個別の意見を聞いて来る人はいない。そのため、今後、意見交換会をすることが自分は本当に楽しみである。直接、住民の声を 1 番聞いているのは町内会長だと思いため、それを期待している。

## 【藤本会長】

この2回の意見交換で、いろいろな問題があることに気付かせていただいたことについて、まずは感謝する。

地域協議会に入っていなければ、少なくとも聞かなかったであろう、町内会の問題や疑問等について、自分の目が地域に向いてきたという意識を持てたことが、自分としては成果だと思っている。まだ微力であるため「何ができる」ということは何も言えないが、何か課題が焦点化され、毎回繰り返されていることに対しても、自分たちの任期4年間で終了した時に、一步でも前進していたらよいと、自分自身が今、意識しているところである。

では意見や感想を踏まえ、今後の進め方について、どのような団体等と意見交換をしたいか、あるいは市の担当者から聞きたいこと、視察等したい場所等、意見を求める。

(発言なし)

急に聞いても、なかなか答えは出てこないと思う。

古川 仁委員の発言にあったように、どのような話をするのか想を練り、まずは町内会長と話をしてみてもどうか。その中で、話をしてみたい他の団体や、行ってみたい場所等があれば、話を進めていくとの方向でよいか。

(よしの声)

詳細については、本日の意見を踏まえ、正副会長と事務局で今後の進め方について協議し、改めて相談させていただく。

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「自主的審議について」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

— 日程調整 —

- ・ 次回の協議会：11月30日（月）午後6時30分から 津有地区公民館 大会議室
- ・ 内容：自主的審議について

他に何かあるか。

(発言なし)

- ・ 会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。